資料２－４

事業所コード:

第1号様式の1(第〇条関係)

基　幹　統　計
自動車輸送統計

秘

自動車輸送統計調査票
－貨物営業用－
（事業所票）

国　土　交　通　省

年　　月分

この統計調査について

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、　　枠の部分に記入してください。
3. この調査についてわからないことがあれば、問い合わせ先(〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)に問い合わせてください。

調査期間は　月　日(　)から　月　日(　)までの　日間です。

提出期限は　月　日(　)です。

報告者	住　所	(〒　　－　　)
	事業所名	フリガナ
	記入者の所属及び氏名	
	電話番号	(　　)

1. 事業所の保有車両数

あなたの事業所が保有している全ての営業用貨物自動車の車両について車種別に記入してください。

	営業用貨物自動車			
	登録自動車			軽自動車
	普通車	小型車	特種用途車	
調査開始日現在の保有車両数	百 十 一 □□□ 台	百 十 一 □□□ 台	百 十 一 □□□ 台	百 十 一 □□□ 台
1ヶ月間の延実在日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車
1ヶ月間の延実働日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車	万 千 百 十 一 □□□□□ 日車

2. 事業所の輸送量の合計

あなたの事業所が保有している全ての営業用貨物自動車の輸送量について1ヶ月間の合計を記入してください。

	営業用貨物自動車			
	登録自動車			軽自動車
	普通車	小型車	特種用途車	
走行距離	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km
実車距離	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□ km
輸送トン数	十万 万 千 百 十 一 . □□ t トン数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。 品名 / 数量 / 単位	十万 万 千 百 十 一 . □□ t トン数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。 品名 / 数量 / 単位	十万 万 千 百 十 一 . □□ t トン数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。 品名 / 数量 / 単位	十万 万 千 百 十 一 . □□ t トン数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。 品名 / 数量 / 単位

※工場、駅、工事現場等の中だけで走行し、道路を少しも走らないときは含めないでください。

3. 事業所の品目別輸送量

あなたの事業所が１ヶ月間に輸送した貨物について、重量が大きい品目順に品目コード及び輸送トン数を第 10 位まで記入してください。第 11 位以下は輸送トン数のみまとめて記入してください。

順位	品目	輸送トン数	トン数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。		
第1位		十万 万 千 百 十 一 . t	品名	数量	単位
第2位		. t	品名	数量	単位
第3位		. t	品名	数量	単位
第4位		. t	品名	数量	単位
第5位		. t	品名	数量	単位
第6位		. t	品名	数量	単位
第7位		. t	品名	数量	単位
第8位		. t	品名	数量	単位
第9位		. t	品名	数量	単位
第10位		. t	品名	数量	単位
第11位以下		. t	品名	数量	単位

事業所コード:

第1号様式の2(第〇条関係)

基　幹　統　計
自動車輸送統計

秘

自動車輸送統計調査票
ー貨物営業用ー
(自動車票)

国　土　交　通　省

年　　月分

この統計調査について

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、　　枠の部分に記入してください。
3. この調査についてわからないことがあれば、問い合わせ先(〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)に問い合わせてください。

調査期間は　月　日(　)から　月　日(　)までの　日間です。

提出期限は　月　日(　)です。

調査する自動車　□□□□ － □□□ － □ － □□□□

※貴事業所が保有する自動車のうち、普通車、小型車、特種用途車、軽自動車のそれぞれについて車両番号の小さいものから2台を選定し、記入してください。

最大積載量　　Kg

調査開始日の午前 0 時に輸送の途中であれば、その輸送については記入しないでください。
調査終了日の午後 12 時(夜中)に輸送の途中であれば、その輸送については記入してください。
調査期間中自動車を使用しなかったときも、1.(1)～(3)を記入してください。

1. 自動車について

(1) 主な用途 → [ ] 1. 特定荷主専属用 2. 特別積合せ貨物用 3. 一般貨物用 4. 集配用 5. その他用

(2) 調査期間中の走行距離
自動車の調査期間中の走行距離を記入してください。

	十万	万	千	百	十	一		キロメートル
調査開始時のメーターの数字(A)……→							.	
調査終了時のメーターの数字(B)……→							.	
調査期間中の走行距離(C)＝(B)－(A)……→							.	

トリップメーター等で、調査期間中の走行距離が正確に把握できる場合は、(C)欄にその数値を記入しても結構です。
(この場合、(A)(B)欄は空白で結構です。)

(3) 休車日数

調査期間中のうち、自動車を使用しなかった日数 ……→ [ ] 日

2. 輸送状況について

自動車の輸送状況について貨物を輸送した区間毎に次のページ以降に記入してください。
輸送状況は貨物を乗せて運行した場合のみ記入してください。

(ア) 工場、駅、工事現場等の中だけで輸送し、道路を少しも走らないときは、記入しないでください。

(イ) 同じ日に同じ場所を同じ品目の貨物を積んで何度も往復して運行した場合は、まとめて記入しても結構です。
その場合には、走行距離欄にはその区間の距離(片道)を、重量欄には延重量を、輸送回数欄には貨物を載せて運行した回数を記入してください。

(ウ) 集配作業の場合、走行途中に積込、取卸がある場合、あるいは特別積合せ貨物運送の場合は、「調査票の記入のしかた」の記入例を参照してください。

(エ) 自動車航送船(カーフェリー)を利用した場合は、その乗船港名及び下船港名を備考欄に記入してください。

輸　送　区　間

1

貨物を積込んだ場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

貨物を取卸した場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . □

輸送貨物品目コード □□

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一 □□□□□□

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一 □□

備　考

2

貨物を積込んだ場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

貨物を取卸した場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . □

輸送貨物品目コード □□

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一 □□□□□□

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一 □□

備　考

3

貨物を積込んだ場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

貨物を取卸した場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . □

輸送貨物品目コード □□

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一 □□□□□□

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一 □□

備　考

4

貨物を積込んだ場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

貨物を取卸した場所　□□月□□日　都道府県コード※ □□

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . □

輸送貨物品目コード □□

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一 □□□□□□

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一 □□

備　考

※北海道は支庁別に都道府県コードを設定しており、一般的な地方公共団体コード「01」とは異なります。別添の「調査票の記入のしかた」を参照してください。

第２号様式（第○条関係）

基幹統計
自動車輸送統計

㊙

自動車輸送統計調査票
ー貨物自家用ー

国土交通省

年　　月分

この統計調査について

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、［　　］枠の部分に記入してください。
3. この調査についてわからないことがあれば、問い合わせ先（○○-○○○○-○○○○）に問い合わせてください。

調査期間は　　月　　日（　）から　　月　　日（　）までの　　日間です。

提出期限は　　月　　日（　）です。

調査する自動車	□□□□ － □□□ － □ － □□□□
最大積載量	Kg
種類	
コード	

サンプル

報告者	住所	（〒　　－　　）
	氏名又は名称	フリガナ
	電話番号	（　　）

調査開始日の午前 0 時に輸送の途中であれば、その輸送については記入しないでください。
調査終了日の午後 12 時(夜中)に輸送の途中であれば、その輸送については記入してください。
調査期間中自動車を使用しなかったときも、1.と 2.(1)(2)を記入してください。

1. あなたの事業所について(調査する自動車が業務用に使われる場合に記入してください。)

(例)○○製造業、○○卸売業 等

事業の種類 →

2. 自動車について

(1) 調査期間中の走行距離

十万 万 千 百 十 一 キロメートル

調査開始時のメーターの数字(A)・・・・・・・・・・・・・・・・・・→

調査終了時のメーターの数字(B)・・・・・・・・・・・・・・・・・・→

調査期間中の走行距離(C)=(B)−(A)・・・・・・・・→

トリップメーター等で、調査期間中の走行距離が正確に把握できる場合は、(C)欄にその数値を記入しても結構です。
(この場合、(A)(B)欄は空白で結構です。)

(2) 休車日数

調査期間中のうち、自動車を使用しなかった日数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・→ 日

3. 輸送状況について

自動車の輸送状況について貨物を輸送した区間毎に次のページ以降に記入してください。
輸送状況は貨物を乗せて運行した場合のみ記入してください。

(ア) 工場、駅、工事現場等の中だけで輸送し、道路を少しも走らないときは、記入しないでください。

(イ) 同じ日に同じ場所を同じ品目の貨物を積んで何度も往復して運行した場合は、まとめて記入しても結構です。
その場合には、走行距離欄にはその区間の距離(片道)を、重量欄には延重量を、輸送回数欄には貨物を載せて運行した回数を記入してください。

(ウ) 自動車航送船(カーフェリー)を利用した場合は、その乗船港名及び下船港名を備考欄に記入してください。

輸　送　区　間

1

貨物を積込んだ場所　　月　日　都道府県コード※

貨物を取卸した場所　　月　日　都道府県コード※

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . 一

輸送貨物品目コード

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一

備　考

2

貨物を積込んだ場所　　月　日　都道府県コード※

貨物を取卸した場所　　月　日　都道府県コード※

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . 一

輸送貨物品目コード

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一

備　考

3

貨物を積込んだ場所　　月　日　都道府県コード※

貨物を取卸した場所　　月　日　都道府県コード※

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . 一

輸送貨物品目コード

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一

備　考

4

貨物を積込んだ場所　　月　日　都道府県コード※

貨物を取卸した場所　　月　日　都道府県コード※

走行距離(キロメートル)　千 百 十 一 . 一

輸送貨物品目コード

重　量(kg)　十万 万 千 百 十 一

キログラム数で表せないものは、すべてこの欄に記入してください。

品 名	数 量	単 位

輸送回数(回)　十 一

備　考

※北海道は支庁別に都道府県コードを設定しており、一般的な地方公共団体コード「01」とは異なります。別添の「調査票の記入のしかた」を参照してください。

第３号様式（第○条関係）

基　幹　統　計
自動車輸送統計

㊙

自動車輸送統計調査票
－旅客営業用－
（乗合・貸切・特定）

国　土　交　通　省

年　　　　月分

この統計調査について

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、[　　　]枠の部分に記入してください。
3. この調査についてわからないことがあれば、問い合わせ先（○○-○○○○-○○○○）に問い合わせてください。

調査期間は　　月　　日（　）から　　月　　日（　）までの　　日間です。

提出期限は　　月　　日（　）です。

サンプル

調査する自動車	□□□□ – □□□ – □ – □□□□
乗　車　定　員	
種　　　類	□□□
コ　ー　ド	

報　告　者	住　所	（〒　　　－　　　）
	氏　名 又　は 名　称	フリガナ
	電話番号	（　　）

調査開始日の午前 0 時に輸送の途中であれば、その輸送については記入しないでください。

調査終了日の午後 12 時(夜中)に輸送の途中であれば、その輸送については記入してください。

調査期間中自動車を使用しなかったときも、1.(1)～(3)を記入してください。

1. 自動車について

(1)主な用途 → □ 1. 一般乗合用 2. 一般貸切用 3. 特定乗合用 4. その他用

(2)調査期間中の走行距離

	十万	万	千	百	十	一		キロメートル
調査開始時のメーターの数字(A)……→							.	
調査終了時のメーターの数字(B)……→							.	
調査期間中の走行距離(C)＝(B)－(A)……→							.	

トリップメーター等で、調査期間中の走行距離が正確に把握できる場合は、(C)欄にその数値を記入しても結構です。
(この場合、(A)(B)欄は空白で結構です。)

(3)休車日数

調査期間中のうち、自動車を使用しなかった日数 ……→ □ 日

2. 輸送状況について

自動車の輸送状況について旅客を輸送した区間毎に次のページ以降に記入してください。

輸送状況は旅客を乗せて運行した場合のみ記入してください。

(一般乗合運行以外用)

(ア) 工場、駅、工事現場等の中だけで輸送し、道路を少しも走らないときは、記入しないでください。

(イ) 同じ日に同じ所を何度も往復して輸送した場合は、まとめて記入しても結構です。
その場合には、走行距離欄にはその区間の距離(片道)を、輸送人員欄には延輸送人員を、輸送回数欄には旅客を乗せて運行した回数を記入してください。

(ウ) 一般貸切運行の場合、同一旅客の輸送が、調査開始日より前から継続している場合は、その分は記入しないでください。また、調査期間中に輸送を開始したものについては、同一旅客の輸送が終了するまでを記入してください。

(エ) 自動車航送船(カーフェリー)を利用した場合は、その乗船港名及び下船港名を備考欄に記入してください。

一般乗合運行以外用

一般乗合運行以外はこの用紙に記入してください。

輸送区間				
1	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □□□□.□	輸送人員(人) 千 百 十 一 □□□□	輸送回数(回) 十 一 □□	備　考
2	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □□□□.□	輸送人員(人) 千 百 十 一 □□□□	輸送回数(回) 十 一 □□	備　考
3	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □□□□.□	輸送人員(人) 千 百 十 一 □□□□	輸送回数(回) 十 一 □□	備　考
4	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □□□□.□	輸送人員(人) 千 百 十 一 □□□□	輸送回数(回) 十 一 □□	備　考
5	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □□□□.□	輸送人員(人) 千 百 十 一 □□□□	輸送回数(回) 十 一 □□	備　考

※北海道は支庁別に都道府県コードを設定しており、一般的な地方公共団体コード「01」とは異なります。別添の「調査票の記入のしかた」を参照してください。

一般乗合運行用

一般乗合運行の場合はこの用紙に記入してください。

□□月 □□日　運行系統 [　　]

この運行系統の距離　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

一日の延輸送人員　千 百 十 一 □□□□ 人

一日の運行回数（片道又は1循環を1回とする）　十 一 □□ 回

一人平均乗車キロ　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

□□月 □□日　運行系統 [　　]

この運行系統の距離　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

一日の延輸送人員　千 百 十 一 □□□□ 人

一日の運行回数（片道又は1循環を1回とする）　十 一 □□ 回

一人平均乗車キロ　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

□□月 □□日　運行系統 [　　]

この運行系統の距離　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

一日の延輸送人員　千 百 十 一 □□□□ 人

一日の運行回数（片道又は1循環を1回とする）　十 一 □□ 回

一人平均乗車キロ　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

□□月 □□日　運行系統 [　　]

この運行系統の距離　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

一日の延輸送人員　千 百 十 一 □□□□ 人

一日の運行回数（片道又は1循環を1回とする）　十 一 □□ 回

一人平均乗車キロ　千 百 十 一 □□□□.□ キロメートル

事業所コード:

第３号様式の２(第〇条関係)

基　幹　統　計
自 動 車 輸 送 統 計

自動車輸送統計調査票
旅客営業用
（乗　合）

国 土 交 通 省

秘

この統計調査について　□□□□ 年 □□ 月分

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、□ 枠の部分に記入してください。
3. この調査についてわからないことがあれば、問い合わせ先(〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)に問い合わせてください。
4. この調査票は、翌月〇日までに必ず提出してください。

報 告 者	住　所	(〒　　－　　)
	氏 名 又 は 名 称	フリガナ
	電話番号	(　　)

1．輸 送 状 況

この調査票には、あなたの事業所に配置されているすべての事業用バスの実績を記入してください。

	計	定　期	定　期　外
輸送人員(人)	億 千万 百万 十万 万 千 百 十 一	千万 百万 十万 万 千 百 十 一	千万 百万 十万 万 千 百 十 一
	□□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□

		計
延実在日車(日 車)		万 千 百 十 一 □□□□□
延実働日車(日 車)		万 千 百 十 一 □□□□□
総走行キロ(キロメートル)		千万 百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□□
うち	実車キロ(キロメートル)	千万 百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□□
うち	空車キロ(キロメートル)	百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□
延運行回数(回)		百万 十万 万 千 百 十 一 □□□□□□□

今 月 末 実在車両数　千 百 十 一 □□□□ 両

2．単位当たりの数量

上記の輸送実績から単位当たりの数量を計算して下の各欄に記入してください。

輸送人員の対前月比	輸送人員 / 前月の輸送人員 ×100	百 十 一 □□□.□□	%
1日1車当たり輸送人員	輸送人員 / 延実働日車	百 十 一 □□□.□□	人
1日1車当たり走行キロ	総走行キロ / 延実働日車	百 十 一 □□□.□□	キロメートル
1日1車当たり運行回数	延運行回数 / 延実働日車	百 十 一 □□□.□□	回

輸送人員が前月に対して 20%以上の増減があったときは、その理由 (該当の番号) をすべて記入してください。

1. 車両数の増減 2. 季節的なもの 3. 行事・催物 4. 天候・災害	□□□□
5. その他 具体的に書いてください。	

事業所コード:

第３号様式の３(第〇条関係)

基　幹　統　計
自 動 車 輸 送 統 計

自動車輸送統計調査票
旅客営業用
（貸　切）

国　土　交　通　省

秘

この統計調査について　□□□□ 年 □□ 月分

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、□ 枠の部分に記入してください。
3. この調査票についてわからないことがあれば、問い合わせ先(〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)に問い合わせてください。
4. この調査票は、翌月〇日までに必ず提出してください。

報告者	住　所	(〒　　－　　)
	氏名又は名称	フリガナ
	電話番号	(　　)

1．輸 送 状 況

この調査票には、あなたの事業所に配置されているすべての事業用バスの実績を記入してください。
なお、工事、駅、工事現場等の中だけの輸送で道路を少しも通らないものについては、除いてください。

		計
輸送人員（人）		十万 万 千 百 十 一
延実在日車（日　車）		万 千 百 十 一
延実働日車（日　車）		万 千 百 十 一
総走行キロ（キロメートル）		百万 十万 万 千 百 十 一
うち	実車キロ（キロメートル）	百万 十万 万 千 百 十 一
うち	空車キロ（キロメートル）	十万 万 千 百 十 一
延運行回数（回）		万 千 百 十 一

今月末実在車両数　千 百 十 一　両

今月中に乗合バスの予備車から流用した延実働日車　千 百 十 一　日車

2. 単位当たりの数量

上記の輸送実績から単位当たりの数量を計算して下の各欄に記入してください。

輸送人員の対前月比 $\frac{\text{輸送人員}}{\text{前月の輸送人員}} \times 100$　百 十 一 . □□　%

1日1車当たり輸送人員 $\frac{\text{輸送人員}}{\text{延実働日車}}$　百 十 一 . □□　人

1日1車当たり走行キロ $\frac{\text{総走行キロ}}{\text{延実働日車}}$　百 十 一 . □□　キロメートル

1日1車当たり運行回数 $\frac{\text{延運行回数}}{\text{延実働日車}}$　百 十 一 . □□　回

輸送人員が前月に対して50%以上の増減があったときは、その理由（該当の番号）をすべて記入してください。

1. 観光ｼｰｽﾞﾝに入った(終わった) 2. 車両数の増減 3. 季節はずれの団体旅行 4. 行事・催物 5. 天候・災害	□□□□□
6. その他 具体的に書いてください。	

事業所コード:

第３号様式の４(第〇条関係)

基　幹　統　計
自 動 車 輸 送 統 計

自動車輸送統計調査票
旅客営業用
（特　定）

国 土 交 通 省

秘

この統計調査について　□□□□ 年 □□ 月分

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、□ 枠の部分に記入してください。
3. この調査票についてわからないことがあれば、問い合わせ先(〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)に問い合わせてください。
4. この調査票は、翌月〇日までに必ず提出してください。

報 告 者	住　所	(〒　　－　　)
	氏 名 又 は 名 称	フリガナ
	電話番号	(　　)

1．輸 送 状 況

この調査票には、あなたの事業所に配置されているすべての事業用バスの実績を記入してください。
なお、工事、駅、工事現場等の中だけの輸送で道路を少しも通らないものについては、除いてください。

		計
輸送人員（人）		十万 万 千 百 十 一
延実在日車（日　車）		千 百 十 一
延実働日車（日　車）		千 百 十 一
総走行キロ（キロメートル）		百万 十万 万 千 百 十 一
うち	実車キロ（キロメートル）	百万 十万 万 千 百 十 一
うち	空車キロ（キロメートル）	百万 十万 万 千 百 十 一
延運行回数（回）		千 百 十 一

今 月 末 実在車両数　千 百 十 一　両

2. 単位当たりの数量

上記の輸送実績から単位当たりの数量を計算して下の各欄に記入してください。

輸送人員の対前月比　$\frac{\text{輸送人員}}{\text{前月の輸送人員}} \times 100$　百 十 一 . □□　%

1日1車当たり輸送人員　$\frac{\text{輸送人員}}{\text{延実働日車}}$　百 十 一 . □□　人

1日1車当たり走行キロ　$\frac{\text{総走行キロ}}{\text{延実働日車}}$　百 十 一 . □□　キロメートル

1日1車当たり運行回数　$\frac{\text{延運行回数}}{\text{延実働日車}}$　百 十 一 . □□　回

輸送人員が前月に対して 20%以上の増減があったときは、その理由 (該当の番号) をすべて記入してください。

1. 車両数の増減 2. 季節的なもの 3. 行事・催物 4. 天候・災害	□□□□
5. その他 具体的に書いてください。	

第４号様式（第〇条関係）

基　幹　統　計
自 動 車 輸 送 統 計

秘

自動車輸送統計調査票
－旅客営業用－
（乗　　用）

国　土　交　通　省

年　　　月分

この統計調査について

1. この調査票は、自動車輸送統計を作るためにだけ使われ、取締りや徴税の資料として使われることは絶対にありません。
2. 別添の「調査票の記入のしかた」に従って、☐枠の部分に記入してください。
3. この調査についてわからないことがあれば、問い合わせ先（〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇）に問い合わせてください。

調査期間は　月　日（　）から　月　日（　）までの　日間です。

提出期限は　月　日（　）です。

調査する自動車	☐☐☐☐ － ☐☐☐ － ☐ － ☐☐☐☐
乗　車　定　員	
種　　　類	☐☐☐
コ　ー　ド	

報　告　者	住　所	（〒　　－　　）
	氏 名 又 は 名 称	フリガナ
	電話番号	（　　）

サンプル

調査開始日の午前 0 時に輸送の途中であれば、その輸送については記入しないでください。

調査終了日の午後 12 時(夜中)に輸送の途中であれば、その輸送については記入してください。

調査期間中自動車を使用しなかったときも、1.(1)(2)を記入してください。

1. 自動車について

(1) 調査期間中の走行距離

	十万	万	千	百	十	一		キロメートル
調査開始時のメーターの数字(A)・・・・・・・・・・・・・・・・・・→							.	
調査終了時のメーターの数字(B)・・・・・・・・・・・・・・・・・・→							.	
調査期間中の走行距離(C)＝(B)－(A)・・・・・・・・→							.	

トリップメーター等で、調査期間中の走行距離が正確に把握できる場合は、(C)欄にその数値を記入しても結構です。
(この場合、(A)(B)欄は空白で結構です。)

(2) 休車日数

調査期間中のうち、自動車を使用しなかった日数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・→ 日

2. 輸送状況について

自動車の輸送状況について旅客を輸送した区間毎に次のページ以降に記入してください。

輸送状況は旅客を乗せて運行した場合のみ記入してください。

(ア) 工場、駅、工事現場等の中だけで輸送し、道路を少しも走らないときは、記入しないでください。

(イ) 同じ日に同じ所を何度も往復して輸送した場合は、まとめて記入しても結構です。
その場合には、走行距離欄にはその区間の距離(片道)を、輸送人員欄には延輸送人員を、輸送回数欄には旅客を乗せて運行した回数を記入してください。

(ウ) 自動車航送船(カーフェリー)を利用した場合は、その乗船港名及び下船港名を備考欄に記入してください。

輸送区間				
1	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □	輸送人員(人) 千 百 十 一	輸送回数(回) 十 一	備　考
2	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □	輸送人員(人) 千 百 十 一	輸送回数(回) 十 一	備　考
3	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □	輸送人員(人) 千 百 十 一	輸送回数(回) 十 一	備　考
4	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □	輸送人員(人) 千 百 十 一	輸送回数(回) 十 一	備　考
5	乗客を乗せた場所 □□月□□日　都道府県コード※□□	乗客を降ろした場所 □□月□□日　都道府県コード※□□		
	走行距離(キロメートル) 千 百 十 一 . □	輸送人員(人) 千 百 十 一	輸送回数(回) 十 一	備　考

※北海道は支庁別に都道府県コードを設定しており、一般的な地方公共団体コード「01」とは異なります。別添の「調査票の記入のしかた」を参照してください。